第５号

リラのいえ

2010年７月発行

ご縁を生かしていくこと

ＮＰＯ法人スマイルオブキッズ代表理事　田川　尚登

日頃から私達の活動にご支援を賜り誠にありがとうございます。お陰様でリラのいえは、６月１日で開設２周年を迎えることができました。

利用者の家族にとっては、この間に嬉しいことや悲しいこと、さまざまな出来事を乗り越えていかねばならないことがたくさんありました。支援している我々ボランティアにとっても家族同様の出来事として一喜一憂してしまいます。

私達は、活動を通して出会う方々と不思議な縁でつながっていると感じることが良くあります。自分が生きていることでのつながり。先祖からのつながりなのか、前世でお会いしたことがあったような方々なのか。初対面から意思疎通ができてしまう人などは特に、そうした印象を抱きます。同じ目的を持った方とは、一気に話が進んでいきます。そんな時々にご縁を感じています。

因縁とは仏教では、物事が生じる直接の力である因と、それを助ける間接の条件である縁。すべての物事はこの二つの働きによって起こると説いています。この活動を通して、すべての物事がこの法則によって成り立っていると強く感じます。目に見えないものの力が大きく働いていることも良く感じとることができます。

私達の活動の目的は、難病や障がいを持つ子どもと家族の支援です。五体満足でこの世に生を受けた子どもでも決して親だけの力だけでは育つことはできません。そこには家族、親族、友人、地域、国が関わってきます。

私達は、決して自分一人で生きているのではなく、周りの方々から生かされているということを感じ取らねばならないと思います。親がいて、友人がいて、近所の方がいて、何かの時に協力してくださる方々がいるお陰で生かされている。自分のことのように考えてくださる多くの方々が存在していることに恩返しをするつもりで、良いものを見つけだし、与えられた命を生かすことによって生きていくことが、生かされている本当の意味ではないでしょうか。

授かりものの子ども達を大事に育てていくことが、生かされている私たちの共通の目的です。まず支援していくご両親がスマイル（笑顔）で子ども達に接していけるような活動を今年度も目指していきますのでどうぞよろしくお願いします。

寄稿

より充実した市民活動のために

横浜市市民局市民活動支援課長　小沢　朗

夏空がまぶしく感じられるころとなりました。スマイルオブキッズ会員の皆様におかれましては、お元気に日々お過ごしのこととお喜び申し上げます。

よこはま夢ファンドは横浜市の基金で、公益的活動に賛同する市民や企業の皆様からご寄付をいただいて、あらかじめ登録したNPO法人の活動などに対し、活動経費の助成などを行う仕組みです。寄付する方が助成先団体を希望できること、税制上の優遇を受けられることが特長です。

よこはま夢ファンドは平成17年度に創設され、現在までに77,841,658円の寄付をいただき、そのうち48,425,363円を登録団体の活動のため助成させていただきました。

助成団体は、スマイルオブキッズ様をはじめとした延べ135のNPO法人であり、その分野は、福祉、文化・芸術、子どもの健全育成、スポーツ・レクリエーション、国際交流・国際協力など多岐にわたっております。皆様のあたたかいお気持ちが、このような市民活動が活発に行われる環境づくりにたいへん役立っており、まちや人々を支え、暮らしやすい地域づくりにつながっております。

スマイルオブキッズ様には、「リラのいえ」建設にあたり16,500,000円を助成しましたが、そのすべてはスマイルオブキッズ様を希望されていた寄付によるものでした。平成20年には、そのような皆様のあたたかい善意の寄付などに支えられ、「リラのいえ」が立派にできあがり、多くの方々に支えられて運営されていることは、よこはま夢ファンドを運営する立場からも大変喜ばしいことです。

この4月には、リラのいえを林文子市長が訪問し、役員、ボランティアの皆様と懇談させていただきました。全国から来られる方々に気持ちよく利用してもらっていることなどを実感でき、市長も大変感銘を受けておりました。

横浜市がよこはま夢ファンドという仕組みを持っていることで、今後もスマイルオブキッズ様のような活動やそうした活動を支える方々のお気持ちに、少しでもお力になっていければ幸いです。

ボランティアより

患者・家族滞在施設「リラのいえ」に来て、早いもので8ヶ月が経過しました。タウン誌の「リラのいえ」の記事が目に留まったのは偶然ではなかったように思います。

以前、テレビで見て滞在施設があるのは知っていたのですが、自分がここでボランティアとして活動に参加することになるとは夢にも思っていませんでした。庭にはきれいな花が咲き、掃除の行き届いた部屋、スタッフ、ボランティアのあたたかい眼差し。私がここで活動に参加できることを誇りに思います。少しずつですが、私もこの輪の中で成長していけたら幸いです。

（青木 美枝子）

利用者の声

私の娘（長女）９才は大腿骨延長のため、こども医療センター肢体施設に入所しています。骨にボルトを何本も通したままの状態で骨が形成されるまで１年以上の入院生活が必要になります。主人の実家が東戸塚にあったので、入院前の昨年夏から私と次女が同居することになりました。次女は実家近くの小学校に転校させ、食事や次女の面倒は義父母がみる生活がはじまりました。

慣れない生活の中、あわただしい毎日を送っていましたが、やがて暮らしが落ち着いてくると、同居でのストレスが増えるようになってきました。義父母は私の負担の少ないようにと家事を一手に引き受けてくれましたが、食生活の違いや次女に対する教育などの価値感の違いからお互いに悩みをかかえていたにも関わらず、私には家事や次女を任せている負い目があり、義父母は病児を抱えた私への気遣いから何も言えず、結局全員が体調を崩す結果となりました。私は不眠、次女も胃を痛め食が細くなり、薬が手放せなくなりました。長女も私が疲れた顔で面会に行くと、本当はさびしいのに「帰っていいよ」、本当は痛いのに「大丈夫だから」と言って、枕に顔をうずめひそかに涙するときもありました。

子どもに我慢をさせてはいけない、そして私も体調を崩しては元も子もないと思い、実家を出る決意をしたものの、自宅に戻れば、病院からは１時間半以上かかり、とても毎日長女の面会に通えなくなります。「私達は行き場所をなくしてしまった」と茫然としていたとき、ふと「リラのいえ」に行ってみようと思いました。不安な気持ちを抱えたまま「リラのいえ」の扉を開けましたが、急な訪問にもかかわらず、スタッフの皆さんが温かく迎え入れてくださり、そして私達にまず「よく我慢したね」と声をかけてもらいました。娘ともども本当に胸がいっぱいになりました。そしてありがたいことに翌日から宿泊させていただくことができ、救われた思いでした。あのまま行く場所もなく悶々と同居生活が続いていたら私達は精神的にどうなっていたかわかりません。

近くに住める家があるのに、私の精神的な弱さでそれが無理になってしまっただけなのに、長い期間「リラのいえ」にお世話になってよいものかどうか、とても悩みました。その葛藤を抱えながら一週間が過ぎました。そんな中でも、子ども達の表情が変わるのが分かりました。長女も次女もよく笑うようになりました。私もボランティアさんから「顔が明るくなった」と言われるくらいになりました。

今の私にできることは、まず自分自身が健康な心と体を取り戻すこと、そして子どものしっかりとした支えになること。また子ども達に「リラのいえ」の生活を通じて、支え合うことの大切さを学んでもらえたらと思っています。長女はもちろん、次女にとってもこの入院期間が、かけがえのない人生の大きな宝になるよう願っています。そして多くの方に、この素晴らしい施設の存在をもっと知ってもらいたいと思います。

「リラのいえ」のリビングに「利用者の声」のノートがあります。病気の子を持ち、その苦しみと向き合い、闘ってきたママ達の気持ちが切々と書かれています。そしてそれを乗り越え、またその苦しい思いを受け止めてこられた多くのボランティアさんへの感謝の言葉がつづられています。ぜひ多くの方にこの声が届くことを願っています。

（相田敬子）

HOUSE OF LILA EVENTS

☆ チャリティピアノコンサート「愛する子ども達のために 2010」

5月23日（日）、横浜みなとみらい大ホールで、第6回チャリティコンサート「愛する子ども達のために　2010」を開催しました。今回は850名もの方々にご来場いただき、あたたかいご支援を賜りました。あらためて感謝するとともに、引き続きご支援・ご協力くださいますよう、お願いいたします。

ボランティアより

第2回のコンサートにご縁で参加させていただき、丸5年が経ちました。その間、あっという間に滞在施設が建ち、自分も夜番などを務めさせていただくようになっていました。

当初はお手伝いでも、と軽い気持ちで始めたのですが、いざ実際に施設に泊まり、利用者の方々と（少しですが）お話をするにつれ、本当にたくさんのことを学び、今も日々皆さんから教えられています。

「リラのいえ」をとおして、心の痛みや悲しみ、喜びを分かる人間に成長していきたい。心からそう願ってやみません。

（上野 真）

５年前から始まったチャリティコンサートも今年で６回目を迎えました。毎年、多くのお客様にいらしていただき、大変嬉しく思います。

日本全国には難病で苦しむ子どもが約３万人いるとか。音楽を通じて自分に出来ることがあるならば喜んでお手伝いしようと始めたチャリティコンサートですが、とても大事なものを病気の子ども達やスタッフからもらっているのに気がつきました。それは人間として根本的な部分を考えさせられるものであり、音楽の表現にも大きくつながるものでした。

障害を持つ子ども達の成人式で演奏を頼まれたとき、演奏中に昏睡の女性が目覚めたり、緊張している筋肉が緩んで笑顔が浮かんだり・・・。聾学校の生徒達に曲名を伏せてラヴェル作曲の「水の戯れ」を聴かせると「キラキラと輝く水の流れを感じる」と言う感想が出て、音楽が持つ不思議な力を感じるとともに、人間が持つ未知なる能力にも驚きました。

耳が聞こえなくても音は感じている・・・・。いったい“音”とは何なのでしょうか？心の奥底にある大事なものが表現されて初めて、音としての輝きを放ち、聴く側の心の奥底にまで到達します。単に物理的な響きではなく、そこには心から伝えられる“何か”があるようです。その“何か”を病気の子ども達から教えてもらったような気がします。

私の心の中にある“最も大事なもの”を音に託して、これからもチャリティコンサートを続けていこうと思っています。「リラのいえ」がある限り。

春に咲く薄紫の美しい花「リラ」、ギリシャ神話の音楽の女神ミューズが持つ竪琴「リラ」、施設のロゴマークを描いたスロベニアの女流絵本作家リラ・プラップの「リラ」。この３つの「リラ」が重なり合って、滞在施設は『リラのいえ』と名付けられました。

美しいリラの花は，小さな花がたくさん集まって１つの花の形になります。同様に私達の１つずつの小さな力が集まって，素晴らしい大きな力が生まれるのではないでしょうか。

あなたにとって一番大事なことは何ですか？ あなたにとって一番大事な人は誰ですか？

心に耳を傾けることを忘れずに、一人でも多くの方と幸せを分かち合えるように、これからも音楽の素晴らしさを伝えていこうと思います。

（ピアニスト 関 孝弘）

収支報告

収 入

チケット売上（前売・当日：計 847 枚）	2,552,000
当日募金・物販	172,187
協賛金	300,000
収入合計	**¥3,024,187**

支 出

会場費	969,815
印刷費	244,433
交通費等	42,420
通信費	118,500
その他（演奏家謝金等）	158,413
支出合計	**¥1,533,581**

コンサートによる収益金（収入―支出）**¥1,490,606**

★収益金はすべて「スマイルオブキッズ」の運営資金に利用させていただきます。

☆ 患者家族とボランティアの昼食会

６月の食事会は２０日、父の日に開催しました。今回は、リラのいえの畑でボランティア手作りのジャガイモとタマネギを使用した献立。テーマはズバリ、「この夏手作り野菜を使ってお酢ですっきり、元気！」　湿気が多い季節のため、強い抗菌作用があるお酢は料理にうってつけ。お酢はある程度過熱すると酸味が少なくなり甘みやコクも出るので、和、洋、中華のジャンルを問わず利用できます。夏を乗り切るお酢パワーの献立をご紹介いたします。

【献立】
くちなし色塩こぶおにぎり、茶飯おにぎり、ポテトサラダ、ジャガイモ・じゃご・きゅうり酢の物、シュウマイ、ジャガイモ油炒め、夏野菜の素揚げドレッシング和え、漬物、イカ燻製・セロリー・きゅうり酢の物、手作りジューンベリージャム（リラのいえで収穫）ヨーグルト

ボランティアより

私は娘がこども医療センターでお世話になった関係で、その当時看護師の斉藤さんと知り合いになり、「リラのいえ」も斉藤さんから紹介され、ボランティアのメンバーに入れていただき２年目になります。この間に数名のボランティアさんが去っていかれ残念です。私も何度か絶望感にとらわれそうになったことも事実です。

かつて、私はたくさんの方に助けられ、医療センターの医師で元所長の後藤先生にはご苦労をおかけ致しました。でもいつも私や娘にはあの優しい笑顔や声のトーンで心が癒されました。

人は一人では生きていけないと思います。一人の人間として、苦しみを寛容に受け入れていくためには、何度も苦しみと繰り返し向き合っていくと言うことです。孤独な自分にむちを打ち、自分自身との壮絶な戦いに勝つことです。負けない心を養っていくことにより「知恵と勇気」がおのずと出てくるのです。不思議と人の心が解り、行動できる人こそが本当に心の強い人間だと思います。しかし、自分の背中は本人には見えません。その鏡が子どもだそうです。

「リラのいえ」はそんな鏡のような子どもたちを支援するところです。これからも「リラのいえ」でこのような食事会に一人でも多い参加者があることを願っています。皆様の色々なアイディアをお待ちしています。　（百村　厚子）

■リラのいえ・利用状況（2009 年 12 月～ 2010 年 6 月）

月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
家族数	32	27	19	25	19	17	25
宿泊数	159	127	71	80	53	63	121
利用者数	319	301	157	156	136	117	206
稼働率	64.1%	51.2%	31.7%	32.3%	22.1%	25.4%	50.4%

■きょうだい児預かり保育・利用状況（2009 年 12 月～ 2010 年 6 月）

月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
件数	23	24	40	41	46	31	23
人数	27	26	50	44	52	36	27
預かり時間	51.5	90	110	113.5	143	72.7	64.0

「リラのいえ」での保育活動

保育士　福田　かおる

私が「リラのいえ」のきょうだい児保育に携わってから、1年数カ月が経とうとしています。始めた当初は、保育の予約が入るか不安でしたが、利用される方も少しずつ増え、登録された方が100人近くになりました。

「リラのいえ」の一角に保育スペースがあります。施設の中は、木の温もりが感じられる広々とした空間で、ボランティアの方々によっていつも清潔に保たれています。たくさんの方から寄付された玩具もあります。今まで0歳から小学生までお子さんの保育がありましたが、それぞれの年齢に合った玩具があります。三輪車、ブロック、プラレール、ミニカー、おままごとセット、お人形、お絵かきセット、滑り台、絵本、DVD（アニメ）などなど、、子ども達が喜ぶものばかりで、寄付していただいて、大変有難く思っています。

最近、玩具用の収納棚と、テラス用のテーブルとベンチを作って頂きました。檜で作られた手作りのテーブルとベンチが届いてからは、テラスでお弁当を食べることも増え、子ども達から「外で食べる！」とリクエストが出ることもあります。テラスの前の、木々や草花を見たり、鳥のさえずりを聞きながら、楽しいお弁当の時間を過ごしています。

たくさんの方によって支えられている保育活動なので、このように恵まれた環境の中で、これからもより多くの方に利用していただけたらと思います。

09年6月～10年5月までの地域別利用者

北海道	青森	秋田	山形	宮城	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	新潟	石川	長野
3	2	17	5	8	10	7	1	4	12	6	11	6	6	5
静岡	愛知	三重	大阪	岐阜	広島	徳島	福岡	佐賀	長崎	鹿児島	沖縄		モンゴル	中国
12	10	3	2	6	7	1	3	1	1	1	1		1	1
神奈川県内	足柄下郡	南足柄郡	足柄上郡	小田原市	厚木市	秦野市	寒川町	座間市	横須賀市	大和市	茅ヶ崎市	二宮郡	海老名市	相模原市
	11	14	2	9	18	3	2	1	8	1	9	2	2	13
平塚市	藤沢市	三浦市	愛甲郡	津久井町	中郡	湯河原	川崎市	都筑区	青葉区	鶴見区	港北区	金沢区	旭区	港南区
5	3	2	1	1	2	2	11	1	8	1	2	1	1	1

「リラのいえ」運営にご支援ありがとうございました

2009 年 12 月 26 日〜平成 22 年 06 月 22 日
敬称を略させていただきます。記入漏れや誤字等ありましたらお許しください。

HondaCars 横浜南 / 渡辺 / 羽田貞子 / 佐伯トシコ / 石丸彰 / 鶴田清子 / 佐々木利明 / 木通昭 / 木崎光子 / 安嶋裕美 / 岩崎幸代 / 小林整治 / 鈴木好子 / 塚田勝久 / 桐生秀昭 / 三浦則子 / 大西フサ子 / 田中明子 / 真船茂子 / 上田絹子 / 佐々木利明 / 千久田恵 / 豊田ブンクート / 金子和男 / 相馬かよ子 / 佐藤圭子 / 横山新一郎 / 伊藤恵子 / 渡邊良晴 / 椎谷俊朗 / 斉藤綾子 / 白谷弥生子 / 大久保照子 / 江草真澄 / 高橋房子 / 下島和子 / 細谷和一郎 / 宋美智恵 / 武内法律事務所 / 三杉信子 / 立石諒子 / 森山喜代子 / 松本剛 / 野村則子 / 志澤直樹 / 堀川恵子 / 株式会社ユック舎 / 安西博 / 鴨井義尚 / 石丸彰 / 永田明子 / 川上賢治 / 南部洋子 / 水島朝子 / 寺澤智恵子 / 小松眞子 / 大井美嬉子 / 福島俊子 / 丸茂弘子 / 浅川冨美子 / 諏訪かほる / 斉藤春江 / 土居久子 / 大竹裕也 / 川上美弥子 / 銭林愛 / 小林良平 / 竹内昭子 / 時田初代 / 伊藤寿子 / 金親義幸 / 片山純子 / 石井康博 / 松島純子 / 青木茂 / 森田知子 / 真道典子 / 平野和之 / 長谷川良子 / 伊藤是孝 / 三石佳子 / 森清治 / 吉田眞子 / 鍋島絢子 / 渡邉美紀 / 竹田こどもクリニック / 井上秀枝 / 石関トヨ / 増田眞理子 / 藤田小児科 / 稲田深智子 / 小峰栄光学園 / 松村美千代 / 中野千代子 / 吉田聡・賢一 / おぐちこどもクリニック / 株式会社本橋製作所 / 小松宗寿 / 木下和子 / 石田美千子 / 松田幸子 / 渡辺薫 / 澤島政行 / 橋詰忠司 / 細井椙子 / 天野由紀江 / 鈴木博子 / 上野葉子 / 鈴木将彦・瑞穂 / 碓井裕子 / 宮北那智子 / 鈴木幸夫 / 後藤彰子 / 市川利子 / 小瀬村芳明 / 後藤義尚・るり / 安藤弘子 / 高木安希 / 青柳充彦 / 鈴木久美子 / 戸田恵美子 / 志村文江 / 大嶋博之 / 林勝 / 村田大輔 / 川村博 / 白幡広記 / 小澤みゆき / 亀島桂子 / 菅頭妙子 / 植田美智子 / 阿比留聰子 / 丹野代吉 / 岡和子 / 佐藤綾子 / 高橋静子 / 山本さとみ / 上戸幸子 / 荻原順子 / 堤京子 / 吉田文雄 / 桑原かつ子 / 大串孝子 / 安田秀二 / 中山宏 / 守谷明美 / 瀧口秀之 / 門田彰三 / 村越顕一 / 塩森芳枝 / 藤井惇子 / 小関咲子 / 鈴木昭 / 野口康英 / 増田志保 / 斎藤雅美 / 若杉章子 / 渡辺 / 森下友恵 / 和田和江 / 桜井春海 / 村山明子 / 高林良宗 / 黒田節代 / 吉森英孝 / 西井弘 / 芦澤悦子 / 木村義肢工作研究所 / 花井悦子 / 水戸陽子 / 清水紀子 / 岡田章 / 綿貫幸子 / 荻野繁治 / 安嶋裕美 / 側島文夫 / 神谷修 / 小牧誉弘 / 中村忠雄・中村洋子 / 府川矯正歯科 / 堰由美子 / 樋口智子 / 根谷崎敏彦 / 村上次代 / 浅賀圭 / 木通昭 / 中澤裕一 / 田中朝美 / 片寄果音・直子・（株）ブライトワン・大木 / 内藤三紗子 / 高市方子 / 荒井良二 / 北村敏代 / 野崎育子 / 国際警備株式会社 / 小林由紀子 / 小林整治 / 川島浩子 / 中村淳子 / 大竹裕也 / 服部和枝 / 落合光美 / 水原仁 / 菅原直子 / 柳沢光枝 / 鎌田慎次 / 儀間小夜子 / 阿部公子 / 工藤三津子 / 石丸彰 / 三輪澄子 / 根本一樹 / 佐藤康之 / 田島香代子 / 大松健三 / 羽田貞子 / 袖山忠一・恵子 / 渡辺 /(株）ザンゴ・ジャパン / 伊藤紘一 / 安嶋裕美 / 山浦襄司 / 横浜和夫 / 川村征雄 / 開上光代 / 山室陽子 / 宋美智恵 / 石丸彰 / 小林整治 / 桐生秀昭 / うたたねの会 / 三浦則子 / 田川正志 / 根本孝江 / 水鳥川和美 / 木戸よし江 / 細井椙子 / 袖山忠一・恵子 / 沢田恵美子 / 碓井裕子 / 大石結子 / 天羽七恵 / 安井泰子 / 吉田敏子 / 金城重盛 / 三宅礼子 / 鈴木寿満子 / 丹波祥子 / 伊藤是孝 / 酒井伴美 / 野村則子 / 鈴木幸夫 / 山浦章子 / 山室陽子 / 有馬純律 / 石井静枝 / 中山雄介 / 根谷崎百合子 / 布施菊子 / 泉水恭子 / 島田啓子 / 植田展子 / 深野千恵子 / 中澤裕一 / 堰由美子 / 川上美祢子 / 下島和子 / 大木宏之 / 佐藤省三 / 遠藤信行 / 豊田ブンクート / 松本はるか / 白川光政 / 塚田勝久 / 椎谷俊朗 / 高橋恵子 / 吉澤幸子 / 本多八重子 / 小川副代 / 花田大・いち子・晴斗 / 澤島政行 / 林美奈子 / 田島香代子 / 大竹裕也 / かながわ農林水産ブランド戦略室 / 関英一郎 / 志澤直樹 / 織田紘子 / 中島敏夫 / 有本淳子 / 新田恭子 / 福島俊子 / 吉田久美子 / 名和幸子 / 笠原友子 / 奥田美也子 / 名和幸子 / 千葉夕佳 / 米田淑子 / 堀口章子 / 井上めぐみ / さとう小児科 / 麻生俊英 / 豊田芳子 / 坂部由紀子 / 小宮弘毅 / 荻野繁治 / 鶴田清子 / 藤間繁 / 小澤みゆき / 石田美千

子 / 渡辺弘・希容子 / 福田敏人 / 佐藤綾子 / 田川志津江 / 片山純子 / 玉木加代 / 小島喜久子 / 橋本洋子 / 林原修 / 坂本比呂子 / 真船茂子 / 間宮節子 / 山田桂一郎 / 今井基子 / 大黒千代 / 大矢敏子 / 斉藤俊雄 / 齊藤真紀 / 小林直人 / 滝沢たか子 / 江隈一枝 / 岡村早智子 / 平川篤子 / 田代信行 / 石村由利子 / 医療法人社団スマイルこどもクリニック東戸塚院 / 相磯しげ子 / 石丸彰 / 岩井忍 / 吉田紀子 / 近藤トシ子 / 坂井雅幸 / 安嶋裕美 / 高石直美 / 若狭静枝 / 関口眞由美 / 手しごとサポート宗像正子 / 間宮節子 / 川田妙子 / 稲田深智子 / 四元和代 / 木村紀子 / 吉田賢一 / 小宮弘毅 / 浅野千鶴子 / 佐久間ふみ / 南智彦 / 大竹裕也 / 土谷勇雄 / 高市方子 / 佐伯努 / 藤田和夫 / 草場春美 / 山本修二 / 外園麻美 / ホシノ小児科医院・星野利勝 / 吉田昭寿 / 羽鳥裕 / 伊澤睦子 / 黒岩希 / 加藤カンナ / 大久保八重子 / 大久保望 / 小林整治 / 木通昭 / 宮本恭誠 / 宮沢紘子 / 細谷和一郎 / 小野ヨシ / 須藤ナヲ / 細野哲 / 清水淳子 / 沼田利夫 / 井関友子 / 芹田俊夫 / 風間美矢子 / 村上乃里子 / 佐藤千穂 / 遠藤信行 / 岩崎幸代 / 川原敏子 / 税理士法人早坂会計・早坂剛 / 小原淳 / 府川俊彦 / 三好明美 / 田島信二 / 幾度すぎえ / 佐藤歯科医院・佐藤隆夫 / 爽画会佐藤節子 / 多田満恵 / 児玉洋子 / 小峰幼稚園 / 多田浩二 / 遠藤まや / 手塚照子 / 玖村俊枝 / 高橋直美 / 羽田貞子 / 川村征雄 / 武川幸子 / 金子瑛子 / 谷村嵩子 / 溝呂木正恵 / 山室陽子 / 山本順子 / 横溝和子 / トォリパティプルショッタム・井林昌子 / 渡辺好徳 / 安嶋裕美 / 石丸彰 / 大竹裕也 / 小林整治 / ㈱ユック舎 / 秋山美代子 / 大平ゆき子 / 石森真基子 / 白鳥まり / 竹田茂子 / 山下真左子 / 小山田豊 / 佐藤旗江 / 寺島妙子 / 本田真理子 / 小泉幸弘 / 矢島美代 / 長村由紀子 / 小林京子 / 佐志田淑子（うたたねの会）/ 山上京子 / 伊藤文博 / ㈱ザンゴジャパン / 安達たつ / 安達かほる / 千葉喜美子 / 最勝寺久和 / 柴田和代 / 瀧口秀之 / 小倉小夜子 / 齋藤真紀 / 張健 / 中田昭次 / 中川美佐子 / 佐々木利明 / 嶋田哲也 / 小嶋英雄・冨美子 / 山本順子 / 田上真澄 / 後藤彰子 / 安藤則雄 / 伊藤久史 / 南区邦楽協会原田 / 進藤康夫 / 飯田朝子 / 松本洋子 / 西田尚子 / 十文字貞夫 / 松本敏子 / 安嶋裕美 / 熊谷順子 / 笠原博司 / 今井基子 / 斉藤俊雄 / 白谷弥生子 / 阿出川俊夫・範子 / 萱畑佳代子・祐子 / 磯ヶ谷政久 / 樋口とみ子 / 川北誠 / 石丸彰 / 角洋子 / 田島信二 / 小林整治 / 鈴木ひろ子 / 白谷弥生子 / 土井康子 / 堰由美子 / 松尾忠雄 / 大石賢二／佐伯隆夫・トシコ / 岩崎真一・幸代 / 田川尚登 / 張健 / 大竹裕也 / 近藤トシ子 / 小田原聖十字教会 / 鎌田慎次 / 町田久美子 / 平野章 / 嶋裕之 / 門田由美 / 羽鳥廣法 / 関孝弘 / ｱﾙﾏｰﾆ日本支社長 / 小瀬村芳明 / 永田ちゑ / 須佐井信子 / 宋美智恵 / 宋美智恵 / 渡辺 / 安嶋由美 / 大竹裕也 /（株）ファンケル・「もっと何かできるはず基金」社員様 / 神奈川県経営者福祉財団 / 毎日新聞東京社会事業団

【よこはま夢ファンド】
戸越一成 / 小宮弘毅 / 笹野淳 / 石井康博 / ふかわ矯正歯科府川俊彦 / 木村光子／氏家成彰 / 坂本比呂子 / 小林直寛 / 株式会社東横商事 /（有）誠幸商事 / 小宮弘毅 / 石井康博 / ふかわ矯正歯科 / 赤木和子 / 岩田慶隆 /

【神奈川県小児医療基金】
吉富鈴江 / 西村善光

【物品によるご支援者】
毎日新聞社 / 横浜市港北区社会福祉協議会 / 辺見茂子 /（有）伊勢屋呉服店 / 田中勢津子 / 大津靖子 / 藤田和夫 / 守谷明美 / 堀越節子 / 武川幸子 / 小林良平 / 大矢敏子 / 古里久美 / 佐伯慎二・由美子 / 沼沢静枝 / 大河原さき / 花王株式会社社会貢献部 / 河野芳江 / 増井羊子 / 山下薫 / 新田香代子 /(株）エイワ会長小高愛次郎 / 平田裕子 / 大塚民枝 / 草場春美 / 高石直美 / 村田恵子 / 石野なお / 荒木朗世 / 川上京子 / 田中彩乃・絵里 / 篠原和子 /（有）パワーボール金祐 / 須藤ナヲ / 上田美代子 / 永澤浩子 / 小松眞子 / 張堅 / 鈴木孝美 / 小島あずさ / 浅川冨美子 / 白谷弥生子 / 大塚民枝 / 寺澤智恵子 / 花王株式会社社会貢献部 / 草場春美 / 高石直美 / 森清治 / 山田ひろみ / 真岸冨子 / 新井千秋 / 岡田さくら / 高橋美樹 / 相馬かよ子　（複数回の方含む）

お知らせ

「リラのいえ」では下記のイベント・行事を行なってまいります。交流会などにはぜひご参加ください。皆様のご参加、心よりお待ちしています。

7月10日	東海脳腫瘍セミナー（名古屋）協賛
7月17日	患者家族、支援者、病院、地域の皆様、ボランティア交流 BBQ
8月	第２回　桐蔭横浜大学サービスラーニング ボランティア研修のための学生受け入れ
8月21～22日	重症心身障がい児・者と家族のふれあいコンサート主催 (横浜ラポールシアター：３公演) ※コンサートのお手伝いができるボランティアを募集しています。
10月3日	ＪＨＨＨネットワーク会議　名古屋にて
10月23日	バザーと施設見学会 ※バザー用品の提供をお願いいたします
12月18日	患者家族、支援者、病院、地域の皆様、ボランティア交流クリスマス会

日程は変更になることがありますので、詳細等については「リラのいえ」までお問い合わせください。

リラのいえ

〒232-0066　神奈川県横浜市南区六ッ川４丁目1124-2

電話・FAX：045-824-6014

e-mail：lilanoie@lilac.plala.or.jp

会報発行者

特定非営利活動法人 スマイルオブキッズ

http://www.smileofkids.jp/　e-mail：toiawase@smileofkids.jp